

江戸方角名所杖

二編
全

ル 4
3702
2



文以玄 齋南可撰
畫の工 立祥

江戸方角名所杖二編

東都書林

寶集堂發兌

早稲田大学図書
印 25.5.20
赤

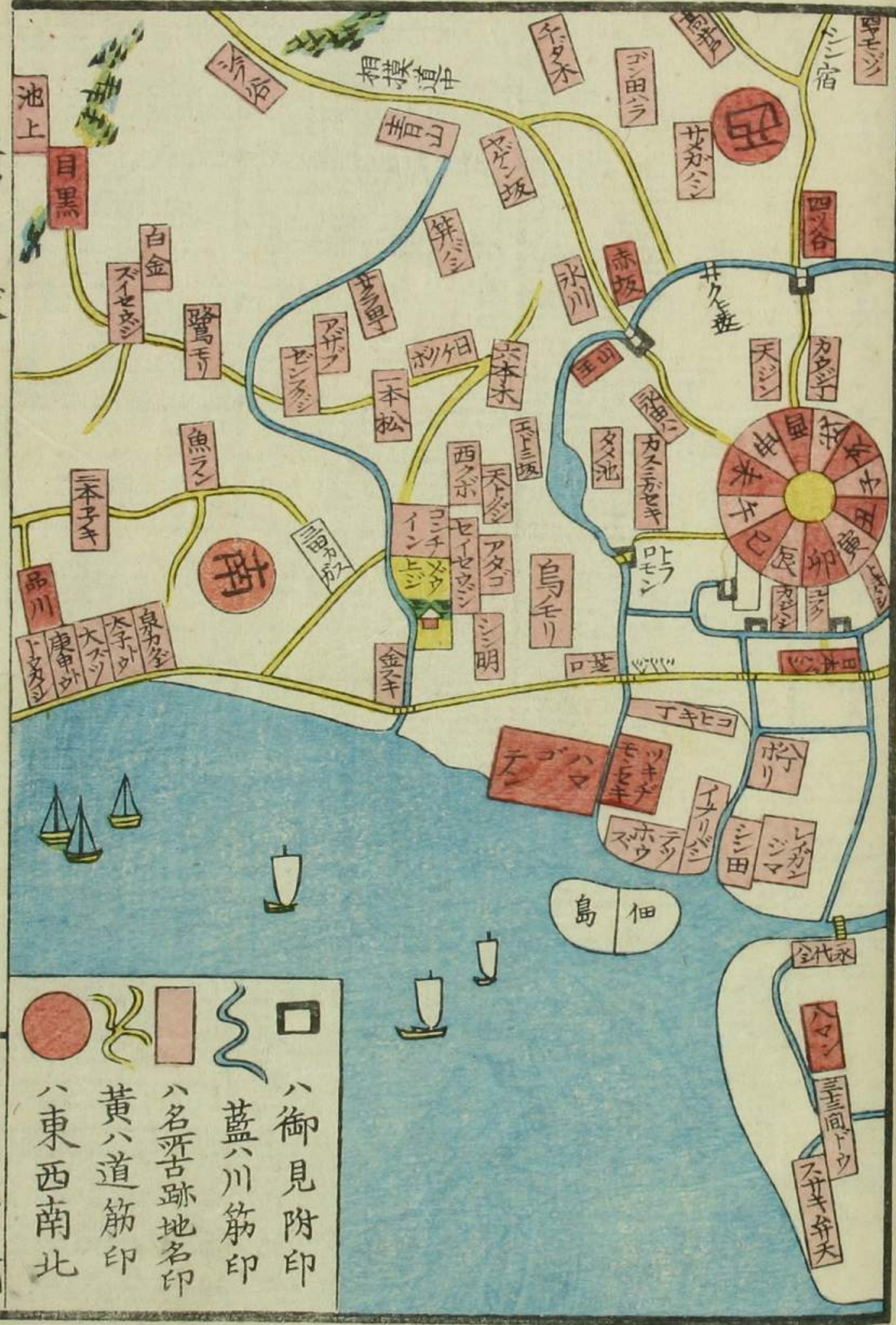


大江戸の仔所を管轄せし縁綱
ひし。其方角子熟せざれば進で退く
ことあり。退きしやうとてつるを以て
は書初編に方角の起源を以てす
こと。たゞは版の要れ如く二編を其
地紙よりなり。末廣き大御代を
祝ふるなりん 又玄馬志るん

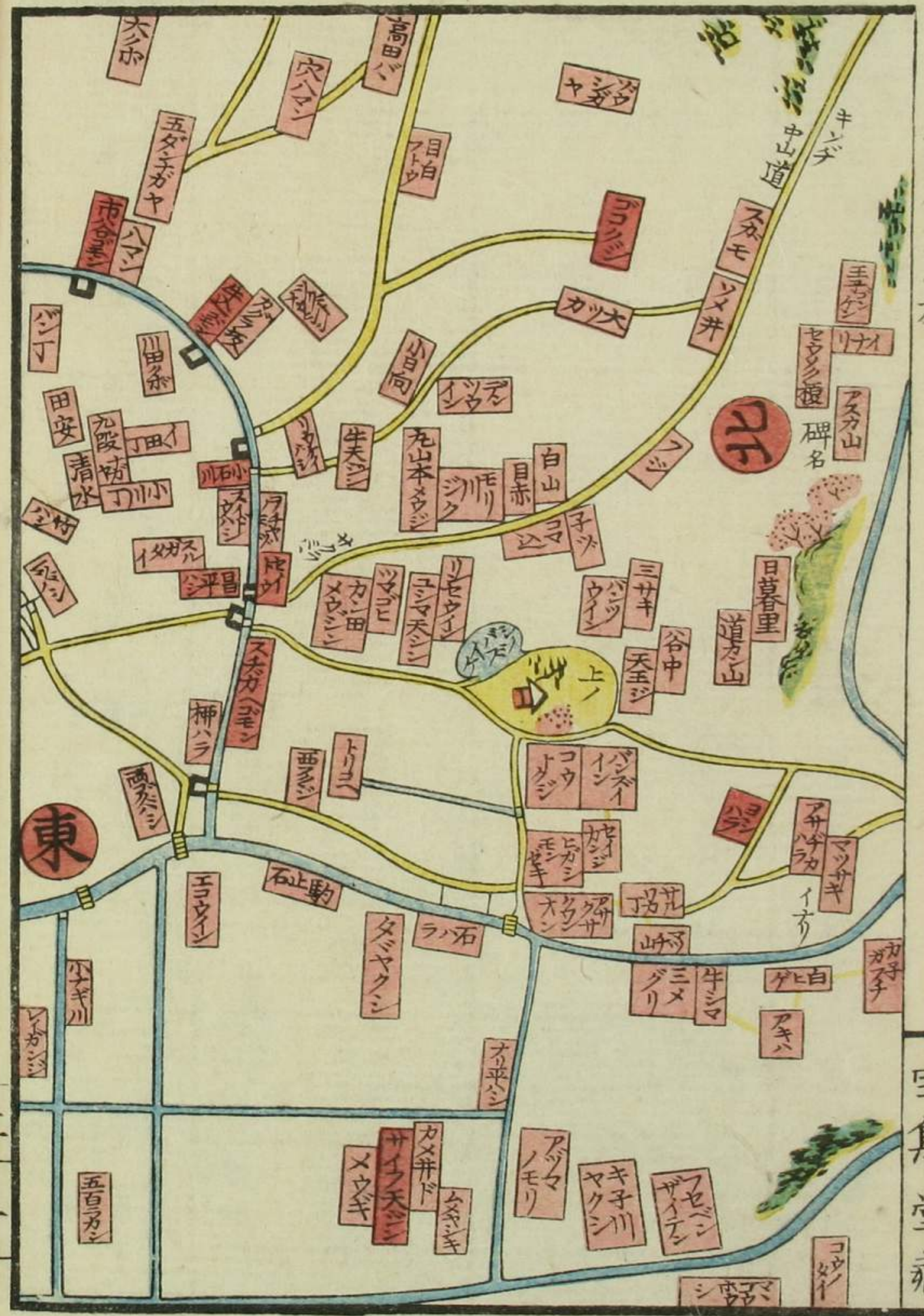
江戸方角杖

宝集堂蔵

江戸方角丈



〇 八御見附印
 藍川筋印
 八名所古跡地名印
 黄八道筋印
 八東西南北



江戸方角丈

江戸方角丈



田安町の牛が淵と
とまむ

実方田安

田安清門の
清水の川の

清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の
清水の川の

版田町の九尾長登

版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登
版田町の九尾長登



九尾長登

牛込

牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名
牛込の地名

神楽坂

神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名
神楽坂の地名



神楽坂



築土明神

築土明神

山成神社の社に社田大明神と曰社ありといふ昔の田安あり田安大明神と号す古田屋の権の効徳ありといふ元和二年今の津久戸山より移す

牛込と小日向のまじり別当吾徒

小日向大塚築踏

是の築土の社の方にお後と社を小日向といふは築土の社をいふ大塚築踏は中世に板橋の橋をめぐりて町をあらはすといふは築土の社をいふ築踏は中世に築踏の橋をめぐりて町をあらはすといふ



護国寺

是の大塚の西に護国寺あり



護国寺

板丁の寺の中にお寺の社をいふは築土の社をいふ築踏は中世に築踏の橋をめぐりて町をあらはすといふ築踏は中世に築踏の橋をめぐりて町をあらはすといふ

雑司が谷鬼子母神

雑司が谷の鬼子母神は同蓮宗の光厳天皇の御代に雑司が谷の鬼子母神は同蓮宗の光厳天皇の御代に



鬼子母神

江戸方角杖

宝集堂蔵



小川竹橋清水流

と且その方の方角をなす竹橋清水ニツル
 流より小川ありと云ふ所の流の各之
 つき難おきしはつ橋ありありあり
 なる系ありまゝ板をいりあり

小川水道橋

川の北は川の南の橋一ツ橋の形をたて小川
 と橋武家小川敷多々〇水石をわすれ小川
 小川の川上ふかき小川町小石川へ
 出る橋ありとの下小川田よりの見あり



隆橋

江戸川へ架す橋より西の橋は水府
 橋へありあり小川天祥橋を流小日向
 船はあり南の小石川番町鞠町之西南小
 市若中あたりに丁文保を之出

牛天神

と云はれは昔小糸氏康夏の中み夏神
 牛みまの二枚の持のちとまいたをのち
 来まると云ふことと夏さめぬそのち氏
 康と云はれと持のちのありと云ふま



江戸方角文

江戸方角文



傳通院
 傳通院
 傳通院
 傳通院

傳通院

牛天竺の徳ありて... 傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて...

傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて...

傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて... 傳通院の徳ありて...



富川



富川

富川の徳ありて... 富川の徳ありて... 富川の徳ありて... 富川の徳ありて...

七面

七面の徳ありて... 七面の徳ありて... 七面の徳ありて... 七面の徳ありて...



江戸

江戸



目黒も里道灌山

谷中の末めに傳ふ目黒の里と云ふは水邊の邊
傳ふは山と云ふ別々の村に傳ふは山の日影の
里の内へ小川の流るるに傳ふは山と云ふは
石造の山城の傍との入社の月影の傍と云ふは

目黒吉祥寺

高野山と云ふは目黒の山と云ふは高野山と
り高野山と云ふは目黒の山と云ふは高野山と
建てるの山と云ふは目黒の山と云ふは高野山と
明徳二年は雨小移るち中々ち察す一四のり



富士

是ハ目黒の山と云ふは
地ハ山に平目あり山に神あり山に
よふ大木あり六月雪と云ふは山に
紫の山あり山に富士あり山に
葉は山あり山に富士あり山に

目赤不動

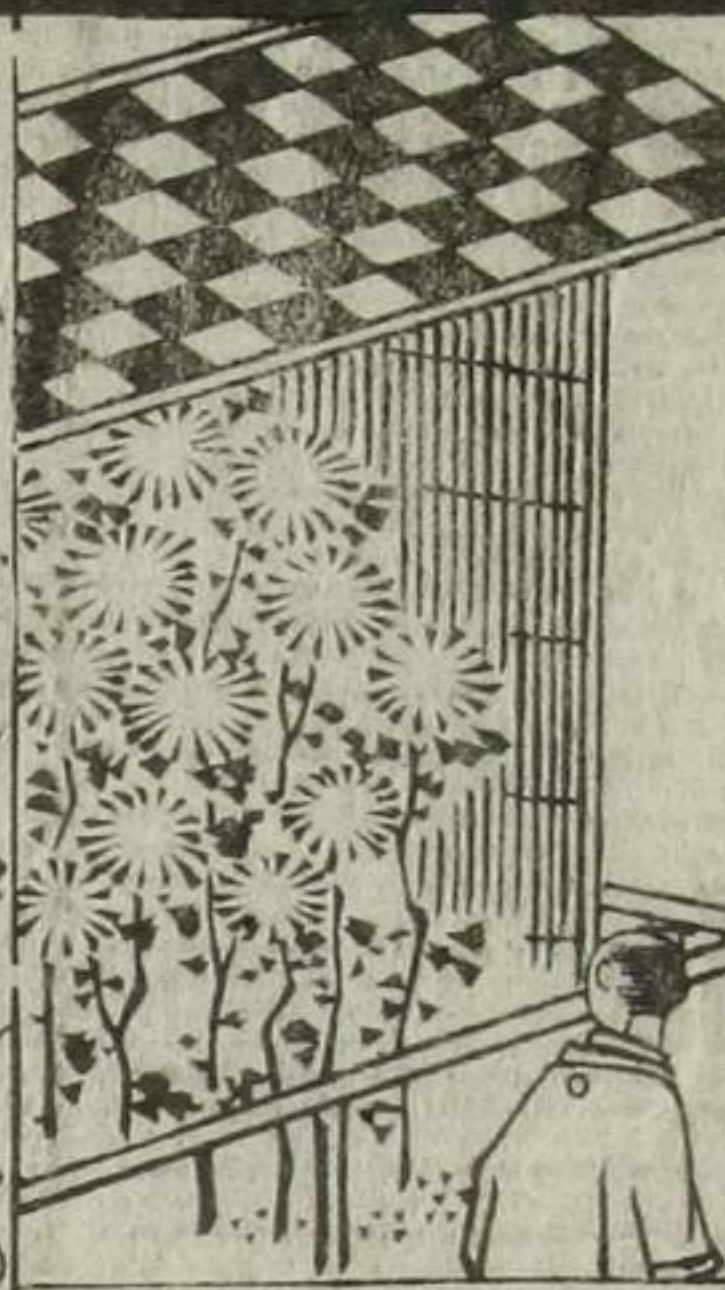
大石山南谷には不動の像あり山に
目赤不動の像あり山に
結ぶ像と云ふは山に
ありの山と云ふは山に





深井白山

深井の白山の御祭
の事
の事
の事



深井の白山の御祭
の事
の事
の事

深井白山の御祭

深井の白山の御祭
の事
の事
の事



深井白山の御祭

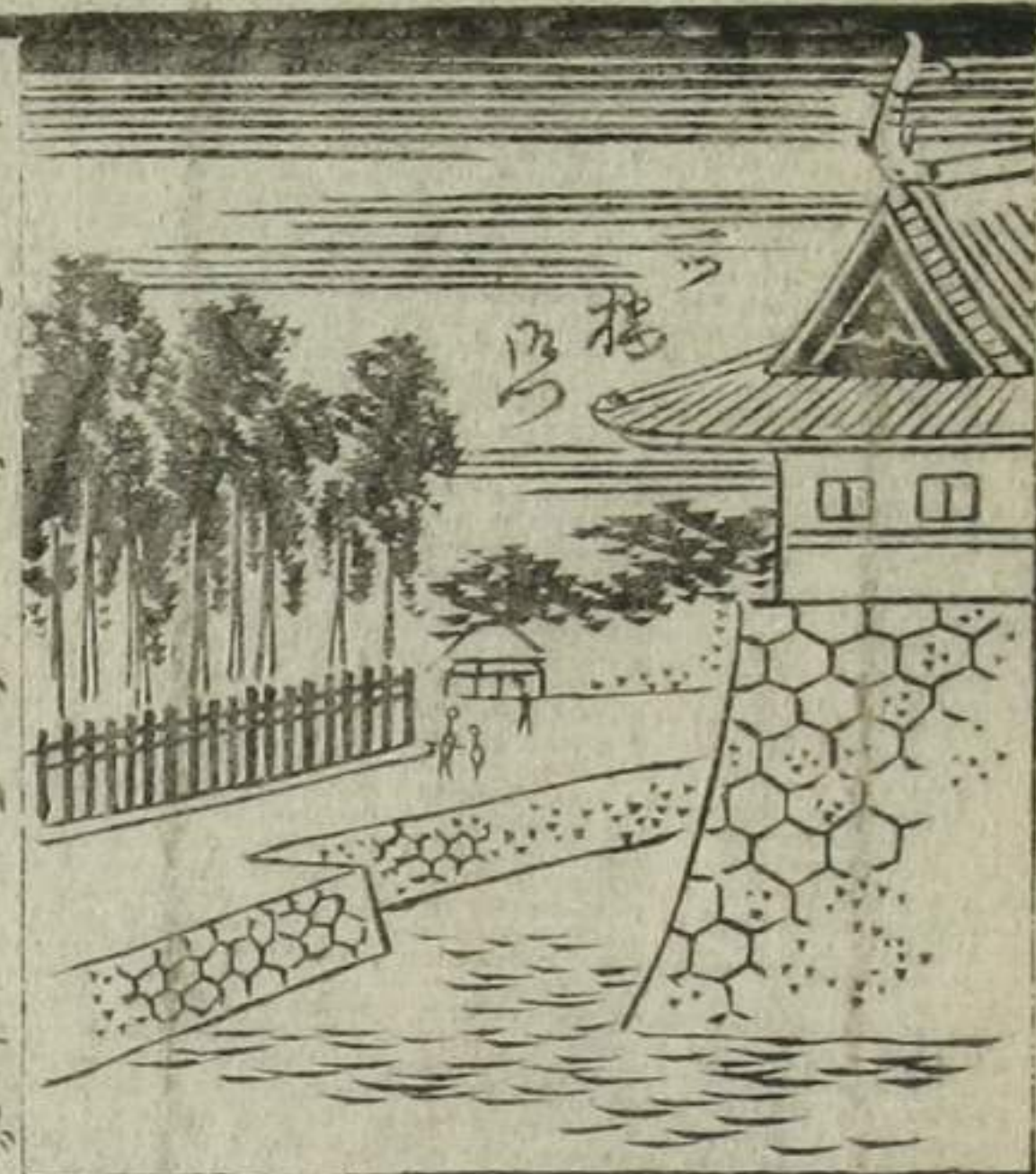
深井の白山の御祭
の事
の事
の事



深井白山の御祭

深井の白山の御祭
の事
の事
の事



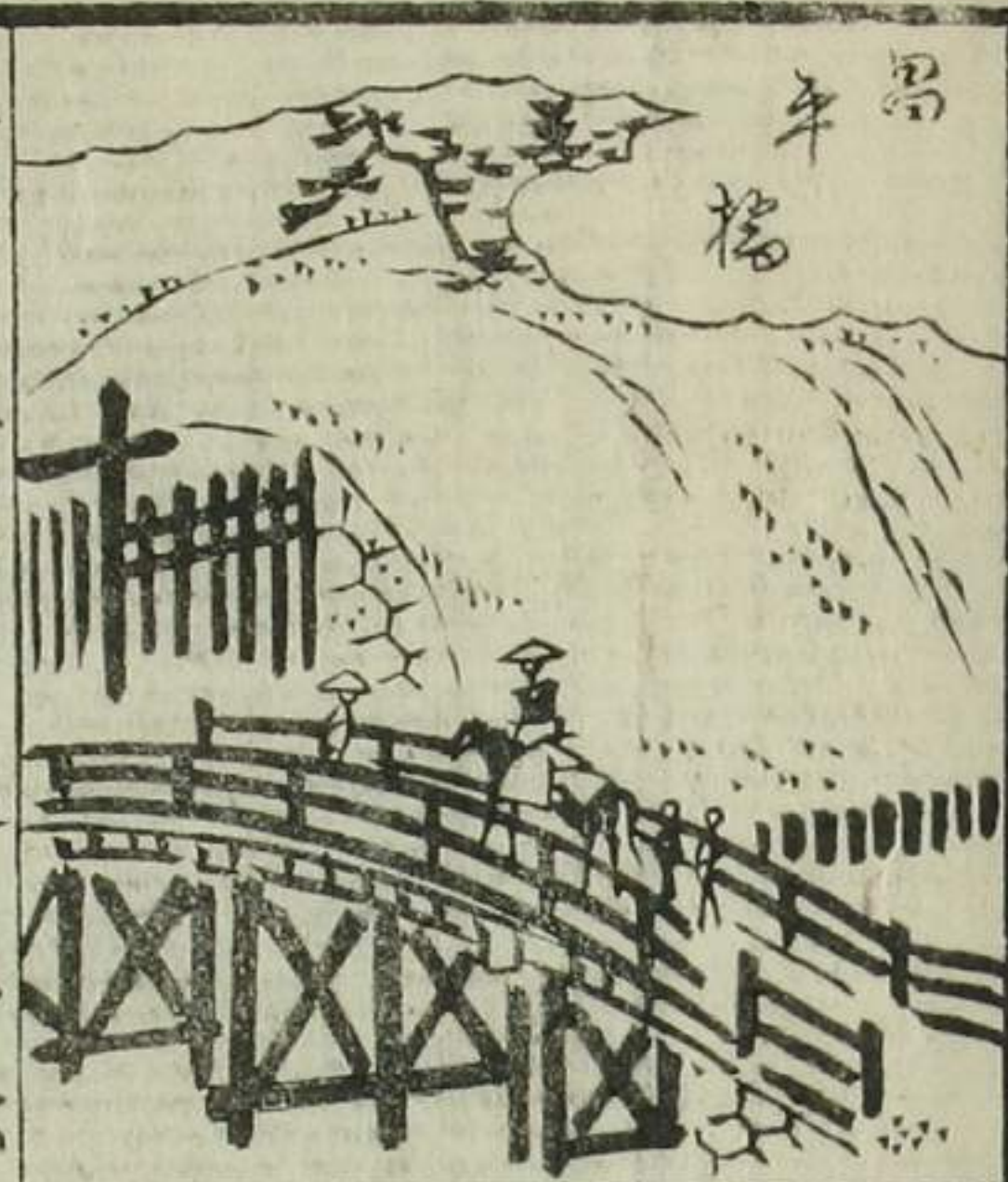


豊方橋
 一橋は渡持
 洗原の侍小

この橋の名のりある神田橋はつらつき西の
 きり橋清水のりあり小石川のありき二番
 なるのきり川口より小川町さるが丁
 水石橋あり西の版田町小石川は之出る

後河巻
 後河巻の川の水
 の向のきりもはなし

あはれなるおめでたふきしよとささむるふさふさも
 隙しはけく長くとも又むら後河巻は
 あはれなることばはよあはれなり板のきり
 ともひい今當年はの内のきりあり



留年橋
 留年はしり橋のきり
 湯徳はしり文の橋

この橋はしり橋のきりあり留年橋はしり橋は南の
 神田まはり丁あな丁あな丁の物丁と大魚
 あり西の湯徳はしりあり北のきり東の
 山あり小石川の橋はあり東の河津川はあり

聖堂
 聖堂は西の橋あり
 年は妙は移りし毎年二月上の下の日教習と
 之孔子は十哲及び宋の六君子はと祀り後河
 川の橋はしり橋のきりあり
 月とみ橋はしり橋のきりあり
 橋あり神仁橋はしり橋のきりあり



江戸方橋

聖堂

榎馬場



榎馬場神田明神

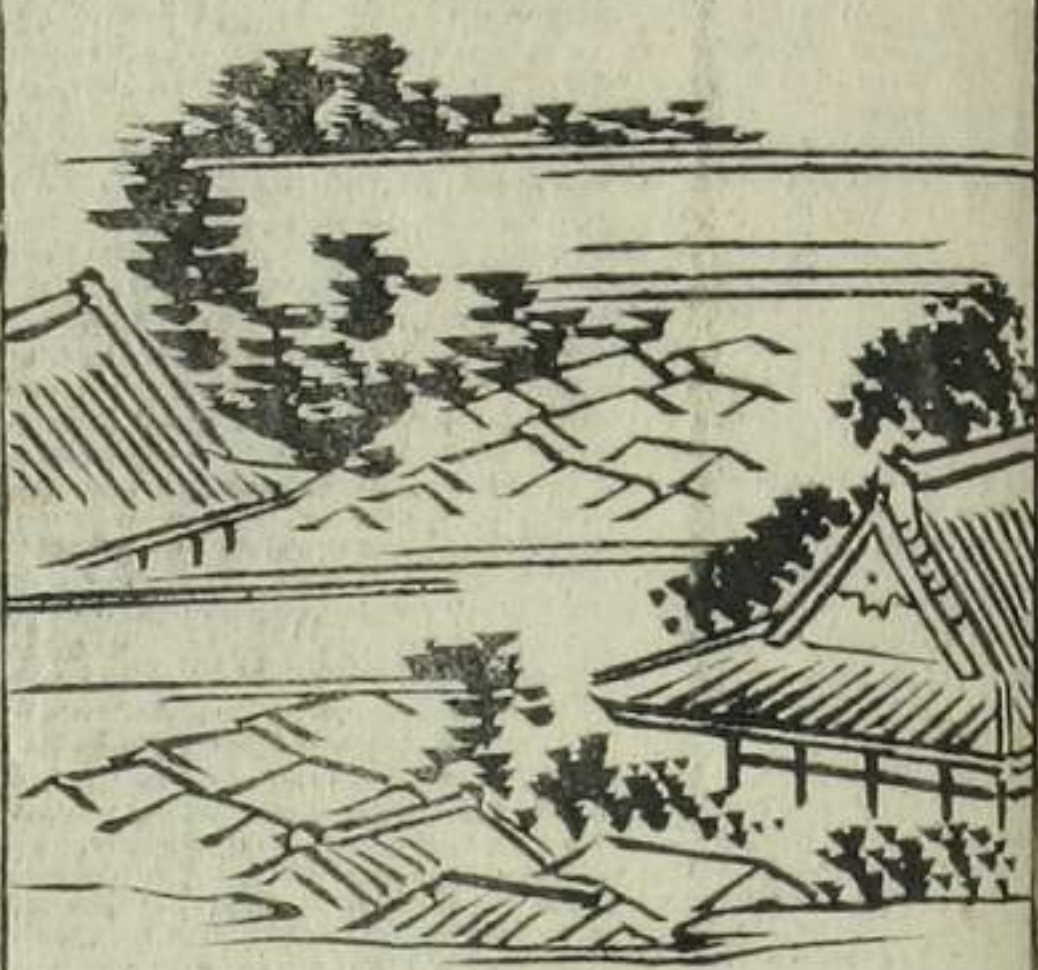
榎馬場の今に清水の湯と云ふ所の榎馬場の
神田明神の湯傳の事あり
大己貴命平形門の具二座とのひ傳ふ例あり
九月十五日神楽あり
神田明神の湯傳の事あり

湯傳天神

山崎院文明の湯傳天神の事あり
社伝建立は田園小村免殺百樹あり
地蔵の戸湯明神あり
今神田明神の湯傳の事あり



鱒船院



鱒船院

一、岡山湯山別和尙寛永二年建立
修之百名湯傳切事
上野屋小湯傳の湯傳
本心堂の湯傳根津と云ふ事あり

妻恋稲荷

門前あり
鬼ヶ原あり
湯傳天神表



江戸方補丈

江戸方補丈



不忠池

不忠池

一のりかたのりかた
 あり不忠の池のあり
 十町とせしむる池あり中みゆあり
 天とまらこの池遠おびしくありと六七
 月のあひむきとてのきせし集いとそ
 清き池ありま那の月虫の名新あり



中瑞瑞寺

中瑞瑞寺

寺
 瑞瑞寺のあり
 上人ち中十七ちあり○天とまら

感念のありとての長耀山と号し岡山日蓮
 上人元禄年中板ありとて天とまらとあり

東叡山

東叡山中のあり
 清き池あり坊今と十六院大階月とては院を
 めぐりあり境内梅相敷千株あり今福
 歩の務ありありとて清山と上野とあり



雨天師

不忠池

院
 不忠池のあり
 不忠池のありとて清山と上野とあり

不忠池のありとて清山と上野とあり
 不忠池のありとて清山と上野とあり



不忠池

江戸方面



清水寺松雲軒寺

清水寺の下の山に玉泉院と号す用山慈覺大師
天長二年の景行○物産新寺の田舎山に
樂院と号す開山見達社東興寺と号す
お屋に石名赤石のりふあり

東山院

本報と号す松雲軒とあり明徳後此の
らうの塔は千日寺と号す東山院と号す
お屋に石名赤石のりふあり



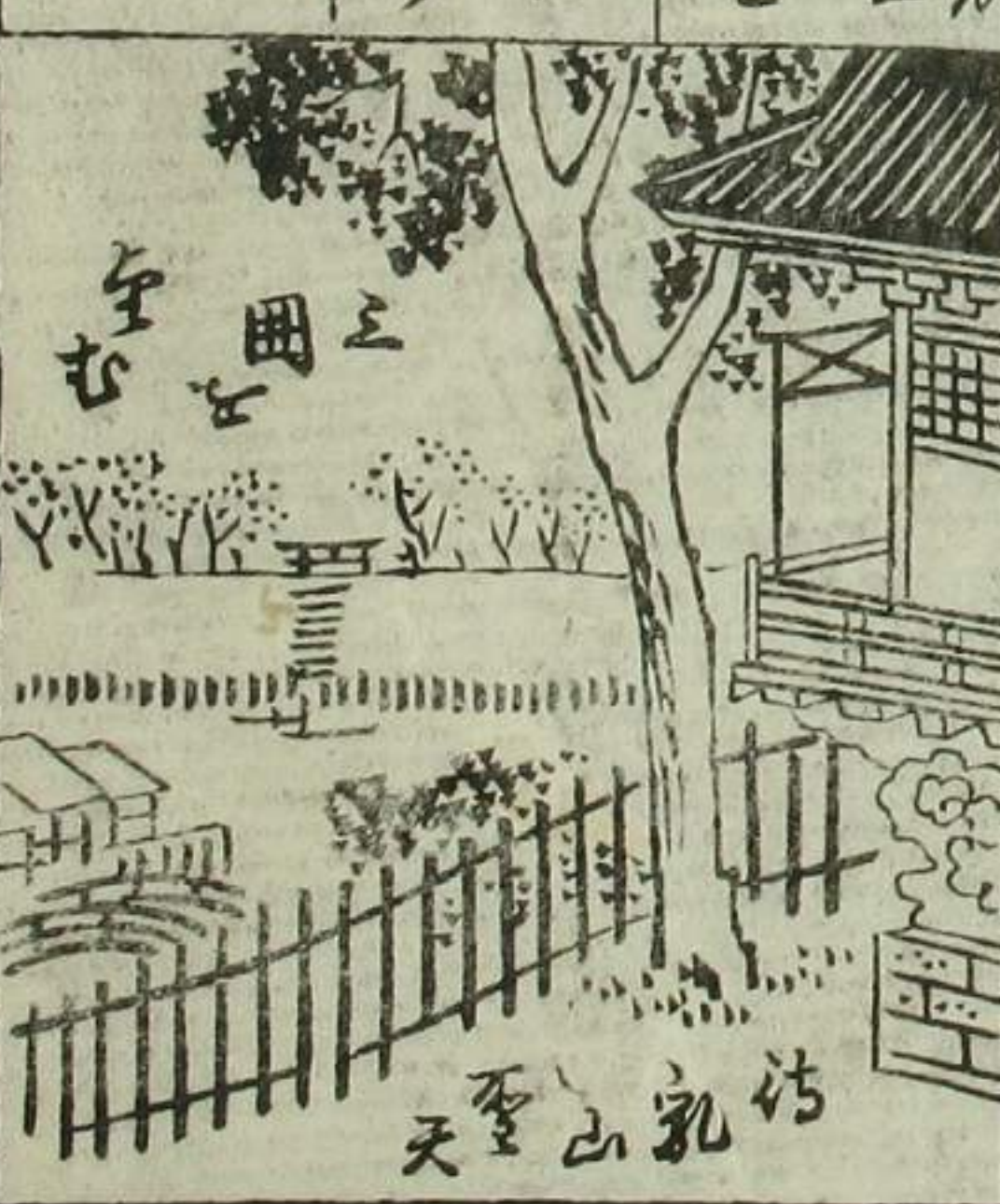
浅草観世音

お屋に石名赤石のりふあり
お屋に石名赤石のりふあり



待乳山聖天

お屋に石名赤石のりふあり
お屋に石名赤石のりふあり





横着町

市村の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて
中村の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて
市村の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて
本橋丁へ連りてありて河原橋を又んき丁ありて

吉原浅茅

此の裏の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて
伏見丁橋を又んき丁ありて河原橋を又んき丁ありて
伏見丁橋を又んき丁ありて河原橋を又んき丁ありて



美橋稲荷

美橋の稲荷にありてありて河原橋を又んき丁ありて
美橋の稲荷にありてありて河原橋を又んき丁ありて
美橋の稲荷にありてありて河原橋を又んき丁ありて



牛馬牛馬

牛馬の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて
牛馬の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて
牛馬の町にありてありて河原橋を又んき丁ありて



九月十日日本所の結あり

江戸幕府



之園稲荷
 此はあまのついで
 の方みあり法を
 年代伴ありまの園山其珠院といふ
 永祿の法室升其南多乞の敷白る
 其ころの院又樓より多く其の石群月の
 金波冬の常言の丹絶るま

秋葉白装
 此は社とも
 結座年代
 洋ありま秋葉大持忍法村老別あり
 千葉山油祭り牛馬あのはるま○白
 祭大明神のち法あり別ありま法院といふ
 こまの牛のひあより川よみある



濁田川澄々測
 濁田川は名ま濁田川と云其川の末流を濁田川
 といふ濁田川の末流を濁田川といふ
 濁田川の末流を濁田川といふ
 濁田川の末流を濁田川といふ
 濁田川の末流を濁田川といふ

寅の方神田橋
 寅の方の神田橋の神田橋は八町の
 の名は東の神田橋の神田橋は八町の
 田丁大丁と云ま申丁馬平に神田橋といふあり
 東の橋といふ名を神田橋といふ西の橋といふ



江戸方南史

江戸方南史

江戸大船



馬門橋

常盤橋

町字大橋子丁字津子津丁横山丁津州
馬門橋より北にありて丁字津子津の
馬門橋より北にありて丁字津子津の
丁字津子津の馬門橋より北にありて

柳系 柳系は津州の馬門の
この馬門の内外とすべし柳系とすべし
馬門の内外とすべし柳系とすべし
馬門の内外とすべし柳系とすべし



鳥越閣

鳥越閣は鳥越の閣也
鳥越閣は鳥越の閣也
鳥越閣は鳥越の閣也
鳥越閣は鳥越の閣也



鳥越閣

西福寺

西福寺は西福の寺也
西福寺は西福の寺也
西福寺は西福の寺也
西福寺は西福の寺也



西福寺

江戸大船

江戸大船

江戸本橋



多尾の傳ハ
永年バ
異色
君ハ今
船形ハ
郭ハ

船形

船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋
船形ハ江戸本橋

石東多田業仲

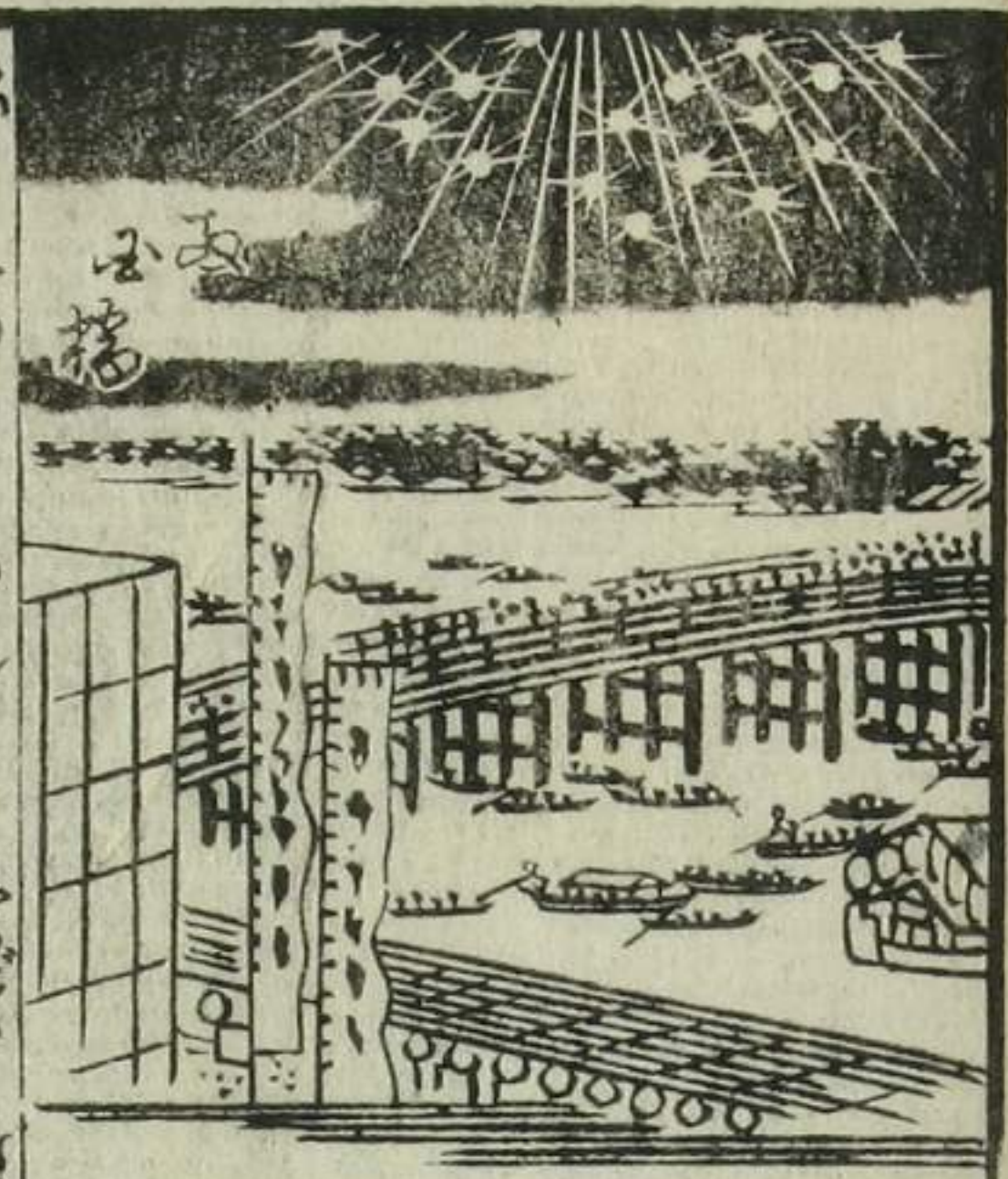
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形
石東ハ船形



多田業仲

女園橋

女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋
女園橋ハ江戸本橋



回向院

回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋
回向院ハ江戸本橋

船止石



江戸本橋

江戸本橋



業平梅守斎天

業平梅守斎天の社あり
業平梅守斎天の社あり
業平梅守斎天の社あり

○業平梅守斎天の社あり
業平梅守斎天の社あり
業平梅守斎天の社あり

梅井の社あり
業平梅守斎天の社あり
業平梅守斎天の社あり



梅屋敷

梅屋敷の社あり
梅屋敷の社あり
梅屋敷の社あり

梅妻

梅妻の社あり
梅妻の社あり
梅妻の社あり



江戸の梅屋敷

江戸の梅屋敷

小川茶所



小川茶所

小川茶所

小川茶所は、小川村の南にあり、小川村の茶産地である。小川村の茶産地は、小川村の南にあり、小川村の茶産地である。小川村の茶産地は、小川村の南にあり、小川村の茶産地である。

布施安敷天

布施安敷天は、布施村の南にあり、布施村の茶産地である。布施村の茶産地は、布施村の南にあり、布施村の茶産地である。布施村の茶産地は、布施村の南にあり、布施村の茶産地である。



布施安敷天

徳橋



徳橋

徳橋は、徳橋村の南にあり、徳橋村の茶産地である。徳橋村の茶産地は、徳橋村の南にあり、徳橋村の茶産地である。徳橋村の茶産地は、徳橋村の南にあり、徳橋村の茶産地である。

弘法寺

弘法寺は、弘法寺村の南にあり、弘法寺村の茶産地である。弘法寺村の茶産地は、弘法寺村の南にあり、弘法寺村の茶産地である。弘法寺村の茶産地は、弘法寺村の南にあり、弘法寺村の茶産地である。



弘法寺

弘法寺



九之拾里四方より

凡二十里四方より六丁一里の積りみ里に
 方之積り六丁より六丁と積り西の方井
 中を流りく六里み一南南川を流り
 小千流を流り里み余り是れを初とす

関東道六丁亭雲

九日本の里教の十六丁と積り一里と
 是れとも性古関あり六丁との心と
 一里と積り正平地及び結ぶみあびら
 由ありまめいその古制我舉り



標之図



六拾余列を群集

減月と富を標業

白美業と春不可

五之標業

余所の法を業を標業と積り
 業と業と名を標業の標業と積り
 百千の天度園繞り一思標業と積り
 作はしるは一業の業を流りあるは





慶應二丙寅夏新鐫

又玄齋著圖

立齋廣重画

江方南名所杖修

名僧澤云

を用ゆるとむりよりの例あり玄慧法
 師が意州姓来よりその外塔とて
 初めあそとあのをき法しんでありまこと
 列を

江戸中橋東中通下槇町

書林

大和屋喜兵衛発兌

東都

書林

中橋東中通下槇町

大和屋喜兵衛板	山口屋藤兵衛	森屋次兵衛	英屋文藏	須原伊門	和泉屋金右衛門	出雲寺萬次郎	須原茂兵衛	山城屋政吉	山城屋佐兵衛	和泉屋市兵衛	岡田屋嘉七
---------	--------	-------	------	------	---------	--------	-------	-------	--------	--------	-------

